



## 興味があるのは私だけじゃない、ここが違う（レビューと引用）

辻 多聞

思いついたアイデアやプロジェクト、それは「宝箱」のように素晴らしいものです。しかし実施してはじめてそれは「宝物」となります。以前にお伝えしているように、それを実施するには他者に「おもしろい」と思ってもらうことが非常に重要です。世界中の誰も興味を持っていないこと、すでに明確な答えが出ているものでは、他者に「おもしろい」と思ってもらうことはできません。

まずは、そのアイデアやプロジェクトに関して興味を持っている人がいることを示す必要があります。これは前回に紹介した「社会的位置付け」につながるものです。それがきちんと大分類、中分類、小分類にて階層構造の位置づけが行われているのならば、世の中に興味を持っている人がいることを示していることとなります。次に明確な答えが出ていないことを示します。すなわちそのアイデアやプロジェクトの「新しさ（違い）」ということです。いくらそのアイデアやプロジェクトが新しいものであったとしても、「これは新しいんだよ（違うんだよ）」と言ったぐらいではなかなか他者は納得してくれません。皆さんは「実験区」と「対象区」という言葉を覚えていますか？一つの朝顔の鉢は日向で育て、もう一つは日陰で育ててみる、日陰で育てた朝顔は日向で育てたものと比べてどうなるだろうか、というものです。この例では、日陰で育てた朝顔が「実験区」、日向で育てた朝顔が「対象区」となります。対象区を設定するからこそ「違い」が分かります。アイデアやプランも同様です。何か対象物を明示することで「違い」、すなわち「新しさ」、ひいては「面白さ」を伝えることができるのです。

これらを念頭におきながら、社会的位置付け、新しさを他者に伝えます。しかし、ただ文言だけで伝えても、やっぱりなかなか他者は納得してくれません（本当に他者に伝えるって面倒ですよ、でもそれがおもしろくあり続けるために必要なのです）。なぜならばデータがないからです（三角ロジックの文章を参照）。「私が言っているのではないよ」、「〇〇さんがそう記しているんだよ」、これが重要であり、「引用」なのです。

××という書籍に示されるように●●の分野は社会的関心の高い項目である。この分野に関してAさんは〇〇ということをつらやりにし（20XX年、××学会誌）、Bさんは〇〇となるであろうことを示唆した（20XX年、××学会誌）。Cさんの研究では〇〇ということまでは明らかとなったが（20XX年、××学会誌）、〇〇に関しては十分な見解が得られていないのが実際である。そこで本プロジェクトでは●●分野の〇〇に関して明らかにすることを目的に実施することを考えている。

上記は、やや堅苦しい文章になってしまいましたが、例えば上記のように表現することで、社会的位置付けや新しさを伝えることができます。もれがないようしっかりと書籍や文献などを調べ（レビュー）して、できるだけ新しい文献データを用いることが、他者をより納得させる方法です。

## 第24回おもしろプロジェクト'19の「おもプロ学長賞」の選定中止に関して

お見かけになられた方もいらっしゃると思いますが、今年度のはじめに、例年実施している「おもプロ学長賞」の投票を、自主活動ルーム前、および3地区での学食前にて実施いたしました。しかし、ご存じのように新型コロナウイルスの感染拡大状況にともなった緊急事態宣言の発令などがあり、十分な投票数が得られず、また得られた投票も割れてしまい選定することが非常に困難となってしまいました。対面講義が基本的に可能となった後期に再度報告会を実施して選定を行うことも計画したのですが、そもそも「おもしろプロジェクト」の活動期間は1年間ということもあり、後期の段階ではプロジェクトのグループが基本的に解散しており、その計画も実施にいたりませんでした。こうした状況をうけ、誠に残念ではあるのですが、第24回おもしろプロジェクト'19の「おもプロ学長賞」の選定は中止することとなりました。対象となるプロジェクトの皆様、新型コロナウイルスの中で投票くださった皆様、関係者やおもプロに興味を持たれている皆様、何卒ご理解、ご了承いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。現段階では確約することはできませんが、次年度は「おもしろプロジェクト」を再開を予定しております。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

**おもしろプロジェクトに関するお問い合わせは  
自主活動ルームにて受け付けています**